

サンクトペテルブルク国立文化大学外国語言語学学科 イリーナ・バース学科長への旭日小綬章の授与式が行われました

平成 27 年 12 月 14 日
在サンクトペテルブルク日本国総領事館



12 月 10 日、在サンクトペテルブルク日本国総領事公邸にて、サンクトペテルブルク国立文化大学外国語言語学学科イリーナ・バース学科長(文学博士)への旭日小綬章の授与式が行われました。同大学トゥルガーエフ学長、シュクシン総務・発展担当副学長、コルパシチコワ日本語教師らが出席する中、山村総領事はバース氏の功績を称え、勲記と勲章を授与しました。これを受け、バース学科長から、自身の仕事が認められ誉れ高い勲章を授かりありがたいと思う、サンクトペテルブルク国立文化大学で日本語を学んでいる学生は卒業後日本に関係するビジネスや文化の分野で活躍している、ロシアと日本の両国民がお互いを理解し、友好関係を保つためには互いの国の文化を理解することが不可欠であり、これは特に 21 世紀を生きる若い人々にとって重要なことである、国立文化大学の活動に対する、山村総領事をはじめとした日本国総領事館の館員の方々の協力に感謝する旨述べました。また式に出席したトゥルガエフ学長からは、学内のみならず国内外の学術グループで知られているバース学科長の長年の仕事が評価されて嬉しく、また光栄に思う、サンクトペテルブルク国立文化大学と日本国総領事館の協力関係の今後のさらなる発展を願っており、そのための協力は惜しまない旨の挨拶がありました。

イリーナ・イサーエヴナ・バース

サンクトペテルブルク国立文化大学外国語言語学学科長、准教授、文学博士。日本語(言語学・教育)に関する多数の論文・書籍を執筆しており、その一部は日本でも出版され、高い評価を受けている、サンクトペテルブルクのみならずロシアを代表する日本研究者。バース氏は、国立文化大学、ゲルツェン記念教育大学、日本センターといった教育機関、エルミターージュやクンストカメラといった文化芸術機関、またトヨタ自動車、全日空といったビジネス分野で日露の架け橋となる人材を育成している教育者でもある。同氏の尽力によりサンクトペテルブルク国立文化大学と岩手大学(1997年)及び上智大学(2005年)との提携関係が結ばれ、これらの大学の多くの学生が国立文化大学で留学した。また、バース氏の発意により設けられた短期留学プログラム(3週間)には15年間で300人以上の日本人の学生が参加した。また同氏は宇田文雄上智大学元教授や板内徳明一橋大学名誉教授といった著名な日本の学者のサンクトペテルブルク国立文化大学における公演も実現しており、国際交流にも大きく貢献。さらに、サンクトペテルブルク国立文化大学は毎年400人のロシア人が受験している日本語能力試験のために大学を会場として提供しており、バース氏のサンクトペテルブルクにおける日本語学習環境への貢献も大きい。